

彙 報

京都大学文学部西アジア南アジア史学

1 講義題目 (昭和37年度)

講義	足利惇氏教授 } 西アジア南アジア	演習 A	伊藤義教講師	中世ペルシア語
	中原与茂九郎教授 } 史学序説	演習	G. G. Lloyd 講師	ヘブライ語文法
研究	棚瀬襄爾助教授			
〳	岩村 忍教授	語学	羽田 明教授	トルコ語
〳	羽田 明教授	演習	大地原豊助教授	梵語文法
〳	藤原利一郎講師	〳	中原与茂九郎教授	シュメール語・ア ッカード語入門
〳	別技篤彦講師	〳	西田龍雄助教授	ビルマ語学
〳	中原与茂九郎教授	語学	加藤一朗講師	ヒエログリフ講読
〳	加藤一朗講師	〳	加賀谷寛講師	近代ペルシア語
〳	岸本通夫講師	〳	内田紀彦講師	ヒンディ語
〳	織田武雄教授	〳	富田竹二郎講師	タイ語学
〳	本岡武助教授	〳	中西龍雄講師	マライ語学
〳	伊藤義教講師	〳	田中四郎講師	アラビア語(初級)
		〳	田中四郎講師	アラビア語(中級)

2 卒業生と卒業論文 (昭和37年3月)

近 藤 治氏：ムガル朝中期における土地収税制度変遷の一考察

会報・会員消息

○本年2月9日在京会員約40名の懇談会を楽友会館で開き、本誌5~7号の発行経過等報告後、会の今後の方針について懇談した。その席上、従来の編集陣(伊藤義教・吉田光邦・加藤一朗)のほか、要請によって新たに小野山節・山本茂・高橋正・恵谷俊之・上岡弘二の五氏が参加され、また37年度からは隔月の予定で例会を開き研究を進めることを申合わせた。

○第1回例会—上記申合せによる第1回例会は日本オリエント学会関西部会の下記会合へ参加することをもちいてこれにあてることとなった。

- ・日時と場所 5月19日午後2時、楽友会館南室
- ・講師と演題 吉田光邦氏：西アジアの技術史

○藤本勝次氏(関西大学文学部助教授)はアラブ連合・ヨルダン・シリア・ギリシア・ローマ・スペイン各地を視察調査後、満1年ぶりに昨年11月8日羽田に帰着された。

○長尾雅人氏(京大文学部教授)・樋口隆康氏(京大文学部助教授)は共に昨年12月中旬渡印、インド考古局百年祝典およびアジア考古学国際会議に出席、引きつづいてインド各地の遺跡を調査された。長尾氏はランゲーンを経て本年1月20日帰国、樋口氏は更に遺跡調査を続行、セイロン、ランゲーン、バンコックを経て2月5日帰国された。

○佐保田鶴治氏(阪大文学部教授)は本年3月末をもって停年退官された。

○足利惇氏(京大文学部教授・本会会長)は4月1日より京大文学部長に就任された。

○吉川 守氏(神戸外大助手)は4月より神戸外大専任講師に就任された。

○山本 茂氏(京大文学部助手)は5月より京都府立大学文家政学部専任講師に新任された。